

東京学芸大学
理数科教育支援システム構築事業

地質野外観察会

— 130万年ほど前の東京の自然を復元しよう —

主催：東京学芸大学理数科教育支援システム構築事業実施本部
担当者：松川 正樹（東京学芸大学自然科学系広域自然科学講座環境科学分野教授）
馬場 勝良（慶應義塾幼稚舎教諭）

実施日：平成21年7月23日（木）（中止の場合は当日7:00までにメールでお知らせいたします）

観察場所：東京都日野市多摩川河床

参加費用：無料（ただし、交通費と個人の持ち物をご負担ください）

対象：小中学校教員

定員：20名（申込が定員に達したところで締切ります）

申込方法：メールアドレスを明記し、メールで下記あてに申し込んでください
（メールアドレスは雨天中止のお知らせに使います）

申込先/問合せ先：

〒184-8501小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学自然科学系 田 艶

e-mail: tianyan@u-gakugei.ac.jp（件名は「理数科支援事業」としてください）

集合場所：西武バス 福祉会館前（柴崎福祉会館前）バス停
（立川駅南口から 西武バス 新道福島行きに乗車）
集合日時：平成21年7月23日（木）午前9時
解散時間：午後1時（予定）

持物：

- 方眼紙（A4サイズを3枚程度）
- スケッチ板
- 金属製の巻尺
- 古新聞紙
- サンプル袋（ビニール袋）
- 筆記用具（油性マジックインキなど）
- バックパック（両手が自由に使えるように）
- 弁当、雨具、帽子、運動靴

集合場所でハンマーと資料を配布します。



貝の化石が見つかります。海ある大昔の立川、日野の光景を描くことができます。